様式 4

南相馬市監査委員公表第 5 号

令和 6 年 9 月 2 5 日付け南相馬市監査委員公表第 4 号で公表した監査結果報告については令和 6 年 1 0 月 2 1 日付け 6 財第 5 4 1 号にて措置状況の回答はいただいておりますが、入居者台帳の敷金額と歳入歳出外現金との不一致部分については令和 6 年度中に改善に至っていなかったことから、現時点での改善状況を再度求めました。その結果、地方自治法第 1 9 9 条第 1 4 項の規定に基づき南相馬市長から令和 7 年 6 月 2 4 日付け 7 財第 2 7 1 号により措置の通知があったので、同項の規定により次のとおり公表します。

令和 7 年 6 月 2 5 日

南相馬市監査委員 大 谷 嘉 洋

南相馬市監査委員 細 田 廣

様式6

監査結果に係る対応状況報告書

建築住宅課	
監査結果 (指摘事項)	改善措置
<p>2 歳入歳出外現金の管理</p> <p>歳入歳出外現金の管理について、適正に行われていなかったもの。</p> <p>市営住宅敷金・定住促進住宅敷金については、入居者から入居時における3か月分の家賃に相当する金額の範囲内において徴収を行っていますが、簿冊で管理している敷金残高と歳入歳出外現金の残高が一致していませんでした。また、旧小高町時代から市営住宅駐車場を使用する際に徴収していた契約保証金についても簿冊で管理している契約保証金残高と歳入歳出外現金の残高が一致していませんでした。</p> <p>歳入歳出外現金の出納及び保管は、地方自治法施行令第168条の7第3項で、普通地方公共団体の歳入歳出に属する現金である歳計現金の出納及び保管の例により行わなければならないとされています。歳計現金同様、適正な事務処理が徹底されなければなりません。</p> <p>早急に差額についての原因調査を行い、適切な管理をお願いします。</p>	<p>建築住宅課では、これまで入居者台帳の金額と預り金の残高の照合を行っておらず、令和6年8月の監査指摘事項を受け、照合した結果、差額が確認されました。問題は、敷金のリスト化がされておらず、歳入歳出外現金残高との照合ができていなかったためです。</p> <p>現在は、市営住宅及び定住促進住宅の現在の入居者から預かっている敷金は、リスト化し、敷金として預かっている歳入歳出外現金の金額で足りることの確認は終了しております。また、令和2年度から現在までの敷金の未返還事案が無いことを確認しています。さらに、駐車場の契約保証金は、簿冊で管理している契約保証金残高と歳入歳出外現金の残高が一致したことを確認しました。</p> <p>確認が終了したため、4月1日に現在の入居者から敷金として預かっている敷金と歳入歳出外現金の差額(不明金)を区別して管理するため科目を新設し、6月13日にそれぞれの科目に振り分けております。</p> <p>適切な管理を行うため、今後は敷金リストと歳入歳出外現金の残額の照合を毎月実施することで再発を防止してまいります。</p> <p>なお、今回確認した際に判明した敷金と歳入歳出外現金の差額(不明金)については、1市2町の合併前や合併直後に退去したにもかかわらず敷金は何らかの理由で返還されていない可能性があるため、各区役所の書庫などに残っている関係書類と紙媒体の歳入歳出外現金の残高記録を令和7年7月末までに照合することで、未返還の対象者を明らかにしてまいります。未返</p>

	<p>還の対象者が明らかになった場合は、理由を説明し、速やかに対象者に返還してまいります。</p>
--	---